

平成 31 年度 事業計画書

1 広報事業

(1) 社会貢献広報事業

宝くじの社会貢献広報事業として、公益法人等が行う社会福祉、社会教育、青少年育成、安心安全、その他公益の増進等に寄与すると認められる事業に対し助成を行い、宝くじのイメージアップを図るとともにその公益性を広報し、地域社会の健全な発展、住民福祉の向上に寄与する。

平成 31 年度助成金額：約 27 億円（消費税を含む。）

(2) 宝くじドリーム館の管理運営

宝くじが、地方公共団体の貴重な財源として全国の街づくりや住民生活の向上に果たしている役割が大きいことなどから、宝くじの公益性、役割等について積極的に広報活動を行うため、恒常的な普及宣伝、情報発信基地としての宝くじドリーム館 2 か所（①東京：中央区京橋、②大阪：大阪市浪速区湊町）を管理運営する。

① 常設展示

- ・日本の宝くじの歴史（江戸時代の「富くじ」、宝くじ元年（昭和 20 年）からの宝くじの歴史等の展示）
- ・収益金の使い道（宝くじの収益金が役立っていることを写真や映像で紹介）
- ・情報検索コーナー（宝くじの発売スケジュールや過去 1 年間の当せん番号など宝くじに関係することをパソコンで調べることができる）
- ・世界の富くじ（世界各国のさまざまな富くじの展示等）等

② イベント等の開催

- ・昼休み時等にコンサート等を実施（全て無料。東京、大阪それぞれ年 11 回）し、親しみの持てる施設として入館者の増加に努める。

③ 宝くじ抽せん会場の提供

- ・ナンバーズ、ビンゴ 5、ミニロト、ロト 6 及びロト 7 等の抽せんを実施する。

(3) その他の事業

社会貢献広報事業の一環として、宝くじの役割、公益性等を周知するため、助成対象事業を掲載したカレンダーを作成し、幅広く国民に配布する。

2 調査研究事業

発売団体等の宝くじの企画運営等の参考に資するため、次の事業を実施し、情報提供する。

(1) 宝くじに関する世論調査

宝くじに関する消費者の意識、購入実態、宝くじに対する評価等を把握し、発売団体等の今後の宝くじの企画運営に資するため、3年ごとに世論調査を実施している。

本年度は、当該調査の実施年に当たることから、全国の満18歳以上の個人約1万2千人を対象として世論調査を実施する。

(2) 宝くじの統計調査

各種くじの購入実態及び認知状況、賞金額に関する意識等について調査する。

(3) 宝くじに関する調査

宝くじに関する各種調査及び資料の作成を行うとともに、諸外国における宝くじの状況等を調査する。

3 国際富くじ組織との連絡協調

発売団体の依頼に基づき正会員となっている世界富くじ協会等との連絡協調を図り、もって我が国の宝くじの発展に寄与するため、次の国際会議に出席する。

(1) 世界富くじ協会（WLA：World Lottery Association）

- ・当協会は、正会員となっている。
- ・総会を、隔年で開催しているが、平成31年度の開催予定はない。

(2) アジア太平洋富くじ協会（APLA：The Asia Pacific Lottery Association）

- ・世界富くじ協会の傘下組織：当協会は、理事となっている。
- ・理事会、総会を、毎年開催している。
- ・平成31年度は、4月にベトナムのダナン（理事会）、10月にオーストラリアのブリスベン（総会）で開催予定。